

修士論文発表（要旨）
2013 年 1 月

中学 2 年生への英語多読指導の研究
—理論・教材・実践—

指導 森住 衛 教授
言語教育研究科
英語教育専攻
211J3051
青木 清

目 次

序 論	1
1 本研究の立脚点	1
2 問題の所在	1
3 本研究の目的	1
4 研究の方法	1
本 論	2
第1章 理論編	2
第1節 多読に関する先行研究	2
1 多読の定義	2
2 多読と精読の比較	6
第2節 多読の実態	9
1 公立中学校での多読	9
2 公立中学校以外での多読	9
3 学校教育以外での多読	10
第3節 Input Hypothesis から考える多読	10
1 習得か学習か	10
2 Input の重要性	11
3 文法へのとらえ方	11
4 意味・内容中心の指導	12
5 文法・文構造配列主義を排除	13
6 $i+1$	14
7 Input 説の根拠	14
8 Input の必要量	14
9 動機付け理論とその工夫	15
第2章 教材編	16
第1節 教材調査	16
1 中学1年生検定済教科書分析	16
(1) 3年間の単語	16
(2) 6社共通の単語全体	16
(3) 6社共通の中学1年生検定済教科書単語全体	16
(4) 6社中学1年生検定済教科書新出単語	17
(5) 品詞ごとの分類	17
2 中学1年生検定済教科書本文中の単語数	17
(1) 東京書籍 NEW HORIZON (旧版)	17
(2) 東京書籍 NEW HORIZON (現行版)	17
(3) 開隆堂 Sunshine	17
3 教材の種類と特徴そして使用方法	17
(1) 教科書教材を立体的に構築する工夫	17
(2) 1年生教科書多読題材一覧	18

第2節 教材作成	20
1 1年生教科書多読教材の「導入教材化」	20
2 1年生教科書多読教材の「発展教材化」	20
第3章 実践編	22
第1節 多読指導の授業導入	22
1 年間計画	22
2 指導案の作成	22
(1) シラバスの必要性	22
(2) 指導案	23
(3) 10分間読みは多読と言えるか	23
(4) スキーマの指導	23
(5) 未習語対策としてのペアワーク	24
(6) 授業実践	24
第2節 多読指導の工夫	29
1 アンケート結果分析	29
2 生徒の希望	30
3 英語力を更につける工夫	30
結 論	31
1 本研究のまとめと今後の課題	31
2 本研究の応用性	32
3 「橋渡し」	32
参考・引用文献	
資料	
謝辞	

要旨

本研究は、中学校の英語授業における多読指導に関するものである。周知のように現在の中学校の英語教育の現場では精読が主流で、多読を実施している学校は極めて少ない。大多数の中学校では、読み物教材としては教科書のみである。ある試算によると、中学1年から3年までに取上げられている文章の量はペーパーバックで実にわずかである。これでは、本来の読む力をつけるのは至難の業である。

一方（ベネッセ教育研究所報 2009：Vol.56）「中学生には、英文を読み取ることに対し大きな抵抗感がある。」との報告がある。その理由は、語彙の不足と長い文への抵抗感が大きい、と考える。そもそも文字に抵抗を示し読書を苦手とする生徒も少なくない。

本研究は、こうした現実を考慮し授業改善の一環として、本来使用している採択検定教科書以外の検定教科書の学年を1年下げた他社の教科書の教材を生徒に与え、できるだけ短い時間に多量に読ませて、英語力増強を試みたい。

この方法の利点は、文法・文構造の未出は皆無に近くなるので、その心配が払拭できることである。また、語彙は題材によって異なるが、一般的な生活基本語彙は既習である場合が多い。さらに、教員の教材作成という手間は必要であるが、必要な経費はコピー代などだけである。以上のような問題意識のもとに本研究の目的を次に3点にする。

- ① 多読の定義や概念などを整理し、中学校で扱える内容を見つける。
- ② 上記をもとに、自主教材を作成する。
- ③ 自主教材をもとに、実践し、その効果を考察する。

この目的を遂行するために、論文の構成は、第1章理論編、第2章教材編、第3章実践編の3章構成とする。第1章では理論的なことを述べる。主として現在の中学校英語授業における読みの実態から問題点を見出し、先行研究を探る。ここではこれまでの多読の定義を列挙し、過去と現在の活動事例を集め説明する。順に「多読とは」「多読の効用」そして「多読の役割」に至る。教科書研究としては、現在日本の中学校1年生で使用されている6種類の検定教科書に出てくる単語・連語を一覧表にしてそれぞれの特徴を見だし、多読にどう活用できるかを検討する。

第2章ではこの分析を経て、約2ヵ月間、22回分教材を作成する。1年下げた他社の教科書の教材を50分授業の一部に充てて読ませるので、文構造が既習か未習かにはそれ程心配はいらない筈である。しかしながら、各教科書で新出単語はやや異なっているため、そのまま使用する訳にはいかない。教材導入には注意を要する。本論文中に一覧表で示すが、未習語はペアワークで生徒が確認し合えば良く、更に生徒はペアワーク後授業者に質問するようにすれば **affective filter** が低くなり、有効な授業改善になる筈である。

第3章では筆者の勤務校の実践を論述する。研究対象は筆者の勤務校である杉並区立宮前中学校の2年生男子生徒36名女子生徒40名合計76名である。年間計画、指導案に沿って実践するが、2012年9月から11月までの2ヵ月とする。普通の授業時間の最初10分を割いて、生徒に1年生の教科書を読んでもらって、キーセンテンスや感想を聞く。事前指導・事後指導・到達度テストを行い、英語力の伸びを測る。

測定の結果は、特筆するほどの伸びを示さなかった。事前指導のテストでは平均点24.5点、事後指導のテストでは平均点25.7点である。この両テストは問題に出てくる固有名詞を替えただけ、ほとんど同程度同問題でしかも同形式である。そこで、30満点中1.2点上がったことを向上と見るか、停滞と見るか。これにはいろいろ要因があろう。そうした要因を考察することは重要だが、より重要なのは生徒の声に注目したい。生徒の多くは多種多様な題材活用で読む力を付けることに肯定的なのである。従来の読みは精読である。そうした読みがあることを承知の上で授業内多読に挑み、英語を読むことに抵抗が減少してきたのである。わずか約2ヵ月間の多読指導で73名中「英語を読むことに抵抗が全くない」が21名、「英語を読むことに抵抗がない」が22名と答えるのである。題材に変化を加え、発問を工夫しつつ継続するのである。正に繰り返しは語学学習の要諦であると言えよう。

参考・文献引用

- 天野宣敬 1986 「〈読むこと〉の言語活動の活発化」『実践・英語教育大系 18 4 技能のアップ』開隆堂
- 新井哲男 1991 「読むことの指導」（編著者 代表堀口俊一）『現代英語教育の理論と実践』聖文社
- 池田重三 1989 「検定教科書以外の教材の活用」『英語教育 7月号』大修館書店
- 伊地知恒久 2010 「日本人高校生英語学習者に対する〈10分間多読〉の効果 ―読解力と読解ストラテジーの認識について―」『英語授業研究会紀要 第19号』
- 伊藤嘉一 1984 『英語教授法のすべて』大修館書店
- 糸井江美 2007 「第Ⅱ部授業実践事例編」『高等教育における英語授業の研究』松柏社
- 今村一博 2011 「日本人英語学習者に対する多読指導の研究：情意、知識・運用力、認知への影響」神戸大学大学院国際文化学研究科
- 卯城祐司 2009 『英語リーディングの科学「読めたつもり」の謎を解く』研究社
- 2001 「第12章 リーディング」『改訂版 新学習指導用に基づく英語科教育法』研究社
- 臼井芳子 2012 第9章 リーディング 『新しい時代の英語科教育の基礎と実践』三修社
- 太田 洋 2007 『英語を教える50のポイント』光村図書
- 岡田公恵 1986 「リーディング・ライブラリー」『実践・英語教育体系9 副教材の工夫』開隆堂出版
- 大里信子 2009 「第3章 VI・リーディング」『英語授業ハンドブック』大修館書店
- 長 勝彦 1996 「わたしのリーディング・マラソン」『現代英語教育 8月号』研究社
- 金谷 憲他 2009 『英語教育の「なぜ」に答える』学校図書
- 2005 『忙しい人の多読トレーニング・メニュー』IBCパブリッシング
- 2006 『英語授業改善のための処方箋』大修館書店
- 1995 「英語多読の長期的効果 ―中学生と高校生プログラムの比較」『関東甲信越英語教育学会研究紀要 第9号』
- 及川 賢 1995 「リーディング力の指導とは何か」『英語リーディング論』桃源社
- 加藤嘉津江 2011 「大学における多読指導の効果と課題」『関東甲信越英語教育学会 第35回神奈川研究大会発表要項』関東甲信越英語教育学会
- 神田みなみ他 2009 『英語多読完全ブックガイド』コスモピア
- 黒澤眞理子 2010 『英語専攻大学生1年生を対象とした英語多読授業の実践報告』「専修大学外国語教育論集」第38号〈抜刷〉
- 小泉利恵 2009 「第1章 英文読解と語彙知識」『英語リーディングの科学「読めたつもり」の謎を解く』研究社
- 小林めぐみ 2010 「多読の成果と課題」『英語教育学大系 第10巻』大修館書店
- 小林めぐみ他 2010 『多読で育む英語力 プラス α』成美堂
- 小町谷 恩 1986 「英問英問・要約を中心とする副教材の多読指導」『実践・英語教育大系 9 副教材の工夫』開隆堂
- 語学教育研究所 2004 『英語指導技術再検討』大修館書店
- 斎藤栄二 2006 『英語授業レベルアップの基礎』大修館書店
- 1990 『新しい英語科授業の創造』桐原書店
- 酒井邦秀他 2005 『教室で読む英語100万語』大修館書店
- 白井恭弘 2004 『外国語学習に成功する人、しない人』岩波書店
- 坂本彰男 2013 「多読で未知語を推測する力をつける」『英語教育 2月号』大修館書店
- 佐藤 剛 2012 「教科書を使った多読活動」『英語教育』大修館書店

- 佐藤明可 2010『多読で育む英語力 プラス α』成美堂
- 佐野富士子 2011「第二言語習得の諸相」『英語教育学大系 第5巻』大修館書店
- 塩澤利雄 1994「多読指導を成功させるために」『現代英語教育 7月号』研究社
- 鈴木寿一 1992「個人差に対応した多読指導の効果 ―多読指導を成功させるために―」
英語教育研究 16 』日本英語教育学会関西支部
- 鈴木 徹 2010「図書館で英語多読」『2010 Tokyo English Teaching Seminar
TADOKU workshop』Ota Sakuradai High School
- 高瀬敦子 2009『英語多読・多聴指導マニュアル』大修館書店
- 高田久壽 1973「副読本を考える―言語感覚の涵養に向けて」『現代英語教育 9月号』
研究社
- 竹田恒美／堀智子 2007「第Ⅱ部 授業実践事例編」『高等教育における英語授業の研究』
松柏社
- 竹中治郎 1969 'THE BIBLE STORIES'『英語多読・速読名作シリーズ20』はしがき
泰文堂
- 竹前文夫 1968「多読指導の実際」『お茶の水女子大学文教育学部附属高等学校研究会』
お茶の水女子大学文教育学部附属高等学校
- 田辺博史 2009「英語リーディング指導の〈なぜ〉に田辺博史が答える」『英語教育の
〈なぜ〉に答える』学校図書
- 塚越博史 2007「第Ⅱ部 授業実践事例編」『高等教育における英語授業の研究』松柏社
- 塚崎香織 2006「英語教育における多読指導の実験的研究」九州大学大学院博士論文
- 津田塾大学言語研究所 読解研究グループ 2009『英文読解のプロセスと指導』大修館書店
- 千田誠二 2000 "Extensive Reading ― the Difference of Reading Proficiency and A
wareness of Strategies Affected by Reading Quantity" 中部地区英語教育学
「紀要」第30号(2000年)』中部地区英語教育学
- 天満美智子 1998「わかるリーディング指導のストラテジー」『英語教育7月号』大修館書店
- 中島利恵子 2012「英字新聞を活用した帯活動」『英語教育 5月号』大修館書店
- 中森誉之 2010『学びのための英語学習理論』ひつじ書房
- 名和雄次郎 2011「自分の教師ぶりをふり返って知る動機づけの大切さ」『研究紀要 第8
号』ELEC同友会英語教育学会
- 西海コエン 2010『Sakamoto Ryōma 坂本龍馬』IBCパブリッシング
- 西谷太津雄 1986「受験英語と実用英語は対立するものではない」『実践・英語教育体系
20 受験英語と実用英語』開隆堂出版
- 野呂忠司 2008「多読指導の理論的背景とその意義」『英語教育論集』桐原書店
- 2009「多読によるインプットをアウトプット活動に繋ぐための実践」『英語教
育 2月号』大修館書店
- 橋本雅文他 1998「高等学校における英語多読指導」『英語教育 Vol.46(12)』大修館書店
- 林 剛司 2009『英語は「多読」中心でうまくいく!』ごま書房
- 2009『優劣のかなたで読みひたれ楽しい英語「多読」入門』丸善プラネット
- 羽鳥博愛 1882『心理言語学と英語教育』大修館書店
- HANASAKI Atsuko 2009 全英連東京大会配付資料
- 藤原宏之 1991『英語展望 No.97 AUTUMN』ELEC
- 久村 研 2005「第13章 リーディング」『新 英語科教育の基礎と実践』三修社
- 深谷計子 2002「多読の勧め」『英文読解のプロセスと指導』大修館書店
- 古川昭夫他 2009『今日から読みます英語100万語』日本実業出版社
- 他 2011『英語多読入門』コスモピア
- 堀内克明 1973「精読と多読」『現代英語教育 9月号』研究社
- 本多敏幸 2008『本多式中学英語マスター 速読長文』文藝春秋
- 松村昌紀 2009『英語教育を知る 58の鍵』大修館書店
- 水野邦太郎 1981「第Ⅱ部 授業実践事例編」『高等教育における英語授業の研究』松柏社
- 1999「読み手を育てる多読の授業」『上智短期大学紀要(20)』上智短期大学

- 宮本順紀 2008 「サイドリーダー指導」『英語力を高めるための多読授業の推進』
- 森住 衛 1980 「文法の説明や練習の例文を考える」『英語教育 Vol.13』大修館書店
- 1981 「楽しい授業とは何か」『英語教育 Vol.30』大修館書店
- 1990 「どこで生徒はやる気になるか」『現代英語教育』5月号 研究社
- 1992 「〈ことばの教育〉とは何か」『三省堂 No.13』三省堂
- 1995 「異文化理解教育とリーディング教材」『英語教育 1月号』大修館書店
- 1992 「〈ことばの教育〉とは何か」『三省堂 No.13』三省堂
- 2000 「〈実践的コミュニケーションをいかにとらえるか〉」『中学英語教育 No.42』三省堂
- 2000 「〈コミュニケーションの基礎・基本を問い直す〉」『中学英語教育 No.41』三省堂
- 2008 「Readingの勧め」『Talce Newsletter No.19』N
東京言語文化教育研究会
- 葉袋洋子 1993 「リーディング・マラソン・多読指導の一試み」『現代英語教育 7月号』研究社
- 渋谷区立松涛中学校 2005・2006『平成17.18年度 パーシャルイマージョンを取り入れた新しい英語教育の開発』
- 文部科学省 2008『中学校学習指導要領解説 外国語偏』開隆堂
- 安田教育研究所 2008『ビジョナリー 2008年1月号』
- 山崎朝子 2008 「多読と英語学習」『英語力を高めるための多読授業の推進』武蔵工業大学
- 山崎 航 2006 『多読の必要性和その指導法の提案』桜美林大学大学院修士論文
- 山田 弘 1986 「利用出来る副教材はこんなにある！」『実践・英語教育大系 9 副教材の工夫』開隆堂
- 吉田達弘 1995 リーディング教材としての教科書はどうあるべきか『英語教育 1月号』大修館書店
- 吉岡貴芳他2004「理系クラスでの多読授業」『英語教育 2月号』大修館書店
- 吉野康子 2003『高専低学年生の英語多読指導に関する一考察』
- 米澤久美子 2012「英語多読と学校図書館」『学校図書館』全国学校図書館協議会
- 淑徳 SC 中等部・高等部 英語科 2011『平成 21・22 年度 教科研究報告(概要)集』各中学校 1 年生用検定教科書
- 新里眞男他 2012『Sunshine』開隆堂出版
- 矢田裕士他 2012『Total』学校図書
- 松本 茂他 2012『One World』教育出版
- 高橋貞雄他 2012『New Crown』三省堂
- 笠島準一他 2012『New Horizon』東京書籍
- 東後勝明他 2012『Columbus』光村図書
- 国際多読教育学会HP WWW.erfoundation.org
『ベネッセ教育研究所報』 2009 : Vol.56
- Anderson, N. 2003 *Reading Practical English Language Teaching* NY:McGrawHill
- Beatrice S Mikulecky <http://www.longmanhomeusa.com/content/FINAL-LO%20RES-Mikulecky-Reading%20Monograph%20.pdf> 2013年1月7日閲覧
- Beniko Mason <http://extensivereading.net/docs/masonstart.html> 2012年12月27日閲覧
- Day, R. R. and J. Bamford 1998 *Extensive Reading in the Second Language Classroom* Cambridge University Press
- H.E. Palmer 1921 *The Principles of Language Study* George G. Harrap & Co.
- West, Michael 1962 *Teaching English in Difficult Circumstances* Longmans
- Nutall, Christine 2005 *Teaching Reading Skills* MACMILLAN
- Krashen, S. D. 2004 *Explorations in Language Acquisition and Use* Heinemann
- 1993 *The Power of Reading Insights from the Research*
Second Edition Heinemann/Libraries Unlimited
- Welch, R. 1997 *Introducing extensive reading The Language Teacher, 21(5)*